

近年、公立高校・私立高校を問わず、上位レベル校の入試における合否を決めるポイントは、国語としてやや高度な「読解力・記述力（表現力）」の習得にかかっています。

この高いレベルでの「読解力・記述力（表現力）」が試される問題に対応するためには、基礎レベルの文法や言葉の知識の習得は言うに及ばず、比較的長い文章を読むことに慣れ、論旨や主題を把握する力を伸ばすとともに、日頃から自分の考えを明確に表現し、記述する力を養うために、実戦的な練習を十分に積んでおくことが必要です。

本書は、この「読解力・記述力（表現力）」が試される多種多様な文章を高校入試問題より精選し、さらにオリジナル問題も加え、系統を分類して、それぞれに対して力をつけることができるように編集しました。骨のある読解問題や、字数の多い文章記述問題を数多く取り上げています。じっくりと時間をかけて取り組むことで、国語力を大いに高めてください。

◎本書の使い方

「過去問例題」

過去の入試問題で使用された文章を用いた問題です。問題の形式や「どのようなことが問われるのか」をつかみましょう。個々の問題には、着眼点として解答の進め方を載せています。解答の糸口がつかめないときは、参考にしてください。

「オリジナル問題」

頻出の著者・作品を扱ったオリジナル問題です。まず自分の力で解いてみます。その後解説を読んで、解答の導き方・文章記述問題の書き方を理解しましょう。また、解答・解説には、「本文の要旨・あらすじ」と本文理解のための「ポイント」を載せています。それらを読んで、文章の要旨や主題がつかめていたかどうかも確認してください。

※文章記述問題の取り組み方―別冊「記述問題練習ノート」について

文章記述問題の解答用に、二百字のマス目「記述問題練習ノート」を用意しました。文章記述問題は、何度も練習して文章記述のコツをつかむことが大切です。初めはうまく書くことができなくても、模範解答を書き写して文章の流れをつかみ、再び書いてみるなどの反復が実力の養成につながります。「記述問題練習ノート」を自由に活用しましょう。

◎もくじ

随筆 4	98
随筆 3	90
随筆 2	84
随筆 1	80
小説 4	72
小説 3	64
小説 2	56
小説 1	52
論説 8	44
論説 7	36
論説 6	28
論説 5	22
論説 4	16
論説 3	10
論説 2	6
論説 1	2